

登録コード	SD504300	開講年度	2026					
授業題目	火山学					担当教員	齋藤 武士	
英文授業名	Volcanology					副担当		
単位数	2	講義期間	後期	曜日・時限	金曜・2時限		対象学年	3年
講義室	理学部第10講義室			授業形態	講義	遠隔授業科目		備考
信大コンピテンシー 該当								
(1)授業の達成目標		授業で得られる「学位授与の方針」要素				【授業の達成目標】		
		2 6 Sカリ, 2 5 Sカリ, 2 4 Sカリ, 2 3 Sカリ						
		【2023年度以降加付対象】理学の各分野における専門知識				・火山学に関する基礎的知識が身につくと同時に, 問題点も理解し, 火山に関する諸データを自分で判断できるようになる.		
(2)授業で学べる「テーマ」		防災減災						
(3)全学横断特別教育プログラム		環境マインド実践人材養成コース						
(4)授業の概要		講義形式で, 火山学の基礎的知識を実物やスライドを用いて解説する。個々の火山の噴火事例を紹介し, 火山学の現状と課題についても議論する。						
(5)授業のキーワード		地質科学の基礎知識を身につける, 地質科学の応用力を身に付ける						
(6)授業計画		1. ガイダンス, 火山とは 2. 火山の分布とプレートテクトニクス 3. マントル対流とホットスポット 4. マグマ 5. 噴火のメカニズム 6. 噴火の分類 7. 噴火様式その 1 マグマ噴火 8. 噴火様式その 2 水蒸気噴火, 山体崩壊, ラハール 9. 火山噴出物その 1 溶岩流 10. 火山噴出物その 2 降下火砕物 11. 火山噴出物その 3 火砕流・火砕サージ 12. 火山観測その 1 地震 13. 火山観測その 2 地殻変動 14. 火山観測その 3 熱・ガス 15. 火山活動予測と減災 授業アンケート						
(7)成績評価の方法		期末試験の成績で評価する。						
(8)成績評価の基準		期末試験で9割以上の得点を得れば, 授業の達成目標の水準から見て「卓越している」(S), 8割以上を得れば「かなり上にある」(A), 7割以上を得れば「やや上にある」(B), 6割以上を得れば「その水準にある」(C), それ以下を「水準に達していない」(D)とする。						
(9)事前事後学習の内容		ealpsに授業で使用するスライドの抜粋を掲載する。それを利用して予習・復習を行うこと。						
(10)履修上の注意		地球科学に関する基礎的知識を取得していることが望ましいが, そうではない地球学コース以外に所属する学生の受講も歓迎する。ただし最低限の数式の理解力や科学的知識を有していること。						
(11)質問,相談への対応		講義終了後にその場でコンタクトすること。 それ以外は, 研究室(理学部C棟406室)で対応できるときにはいつでも対応する。						
【教科書】		特になし						
【参考書】		特になし 授業中に適宜紹介する。						